

新橋地区コミュニティ協議会だより NO.2

令和4年2月7日発行
新橋地区コミュニティ協議会事務局

会長挨拶



会長 井上 豊

校区の皆様には健やかに過ごしのことと存じます。

さて、去る4月17日に、校区公民館に変わる「新橋地区コミュニティ協議会」を設立しました。

しかしながら、事業活動については、年度前半はコロナ禍のために、当初予定していた事業をほとんど実施することができませんでした。

また、いったん鎮静化したコロナの再流行により、後半も中止せざるを得ない事業もありました。その中でも鬼火焚きを中心として、事業を実施することができました。今後も、役員会等で十分に協議しながら「新橋地区コミュニティ協議会」の活動を推進していきますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

令和3年度は、コロナ禍の影響で前半は予定通りの活動が実施できませんでした。後半もコロナの急激な流行で中止せざるを得ない事業もありましたが、その中でも次の事業などを行いました。

イルミネーション設置事業・防犯パレード

去る12月18日(土)道の駅、おじゃんせ広場において恒例のイルミネーションを設置しました。色とりどりのイルミネーションが冬の夜を明るく照らし出し、またクリスマスの雰囲気醸し出し、通行客の目を引いていました。

また、当日は年末の防犯パレードも実施され、警察署・消防団の協力のもと、消防車・パトカーとともに隊列を組んで校区一円で防犯対策を訴えて巡回しました。

防犯用のアナウンスは松山小学校の生徒たちが担当し、一生懸命、防犯活動の重要性を車上から放送していました。



防犯アナウンスを行った小学生とイルミネーション

年末の特別警戒

12月27日(月)午後6時30分より、西馬場消防詰所において新橋地区の年末特別警戒の出発式が行われました。

当日は、議長・分団長による年末の防災の重要性等についての訓示がなされた後、消防分団による年末特別警戒が開始されました。

コミュニティ協議会からは各分団に激励見舞金が支給されました。



合同七草祝い

1月7日(金)午前10時より老人福祉センターで、合同七草祝いを実施しました。七草祝いとは、1月7日に数えて7歳を迎える子供の無病息災を祈願する鹿児島県の伝統的な行事で、薩摩藩の時代から続いている伝統的な儀式です。

当日は、新橋地区の9名の子供たち(男子4名、女子5名)が保護者同伴のもと参加しました。子供たちは、羽織袴、着物の晴れ着に身をつつみ、まずは手形取りを行い(色紙に各自の手形を取る)、その後神事が行われ、子供たちの無病息災・成長祈願のご祈祷がなされました。子供たちの今後の健やかな成長を願いたいものです。



鬼火焚き

1月8日(土)午後5時30分から、恒例の鬼火焚きを実施いたしました。鬼火焚きとは、正月の七日に、大やぐらを焼いて、正月飾りについてきた悪霊(鬼)を追い払う、一年間の無病息災、家内安全などを祈願する鹿児島県の伝統行事です。他県ではトンド焼き・左義長などとも呼ばれ、各所で実施されています。

当協議会の鬼火焚きは16回目を迎える伝統行事です。例年は、保育園児のお遊戯や小学生による大声コンテストにぜんざいや餅のふるまいなどイベントを併せて実施しておりましたが、コロナ禍の現状では、関連するようなイベントは中止せざるを得ませんでした。

当協議会では、約1か月前から準備に取り掛かり、大やぐらの設置等を行いました。

当日は、午後5時30分から神事が取り行われ、神事祈祷や還暦代表、小学5年生代表を含めた9名の方の玉串奉納が行われました。

午後6時から、松山小学校の小学生・実行委員を中心となって火入れが開始され、積み上げられた大やぐらに火が放たれました。火はあっという間に大やぐらに燃え広がり、たいへん勢いよく、長い時間燃え上がっていました。

その迫力に、観客からは、一年間の無事を祈願するとともに歓声が上がっていました。この火の勢いで昨年からの悪霊(鬼)も十分に追い出され、無病息災、家内安全等幸福な1年が訪れることと思います。皆様のご多幸をお祈りいたします。



新屋外ステージ建設

この度、県補助金を活用して、おじゃんせ広場に、イベント活性化のために新しく屋外ステージを建設しました。当初は、3月に落成式を実施し、併せて音楽フェスを実施する予定でしたが、コロナ禍の影響で延期せざるを得ませんでした。音楽フェスについては、延期して実施する予定ですので、ご期待ください。

今後、この新屋外ステージで、音楽フェスはもとより、六月燈などのイベントに活用していくこととしております。

